

# サンシャイン通信

## 学校運営協議会 研修会

### 『子どもの貧困』

#### ～『子どもの貧困』とどう向き合うか～

学校運営協議会では年に一度様々な子どもに関する様々な分野の研修会を開催しています。今年度は『子どもの貧困』について北筑後教育事務所人権・同和教育室の嶋井加寿江先生をお招きし研修しました。

近年、子ども食堂など子どもの貧困に対して注目されています。中牟田校区でも公民館を利用し子ども食堂を行っている団体がいくつかあります。そこで、私たち学校運営協議会委員として貧困の本来の意味の理解や、子どもの貧困に対しどう向き合っていけばいいかを学ぶいい機会でした。現在、日本の子どもの貧困率は13.9%（2016.6厚生労働省発表）7人に1人が貧困といわれています。また、福岡県の子ども貧困率は23%（西日本新聞調査）と高い数値でした。

このような金銭的・物質的貧困によって下記のような問題が生じてきます。

- 子どもの発達
- 親の長時間労働・ストレス
- 文化的な資源の不足  
学習塾、習い事、体験学習など
- 無気力・自己否定  
他者と比べることによる、劣等感や絶望感
- 親族・近隣からの孤立
- 虐待・ネグレクト（医療ネグレクト）
- 不十分な衣食住  
夏休みにやせる児童生徒の増加
- 不健康

そこで、私たちにできることは…人と人、人と社会の関係性に着目し、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境の整備をすることだと思います。今回の研修会を踏まえ、今後も子どもとの繋がりや、地域で見守る環境作りを行い展開していこうと思います。

## 第4号

平成29年（2017年）12月20日発行  
学校運営協議会：広報部

## 学習発表会

11月25日（土）学習発表会が行われました。各学年個性たっぷりの発表で見ている方も楽しく過ごせました。今回はアンケート内容を少し紹介したいと思います。

- ・生徒だけではなく先生方の発表もあり、学校全体が一つになっているところが良い。
- ・体育館が寒かったので子どもたちが心配でした。
- ・休憩時間に暴れる子どもがいて危なかった。

アンケートの多くは好評価でしたが、休憩時間の子どもの過ごし方には、気を配る必要があったと感じました。



## 子どもたちの冬休みの過ごし方…

毎年『冬季休業期間における児童生徒の指導』が福岡県教育委員会から通知があります。10項目の指導の中から現在の中牟田小学校の子どもたちに特に注意をしていただきたい項目を一部取り上げ、お知らせしたいと思います。

### 《犯罪被害などの未然防止対策について》

- 戸外の人目のない場所では、単独で遊ばない。
- 知らない人の誘いには絶対にのらないこと。
- 知らない人から車に乗るよう誘われても絶対乗らない。危険を感じたら大声で助けを求めること。
- エレベーターで知らない異性と二人きりになったら、途中の階で降りること。

### 《インターネット依存や犯罪の防止》

- ～下記の行動が見られるときは注意してください～
  - SNS等を利用し、様々な人とメッセージのやり取りをしている。
  - 携帯電話等によるヒソヒソ話や長電話が多くなり保護者が近づくと電話を切る。
  - 携帯電話等の着信を常に気にするなど、インターネットの使用時間が日常生活に影響しつつある。
- 冬休みは家族の一員としての役割、地域活動の参加を有意義にあるとともに、ルールを守り安全に過ごしてほしいものです。

